

静浦バイパス1号トンネル通信

第5号

平成27年6月 発行：鹿島・集JV

はじめに

地域の皆さまには、日頃より工事にご協力いただきありがとうございます。
静浦バイパスのトンネル工事を行なっている、鹿島・集特定建設工事共同企業体です。
トンネルの工事は山の中を掘る作業です。工事の状況をご理解いただくために、工事の進捗やトンネルの中の様子をご紹介するトンネル通信を発行しています。今回は第5号です。
6月は主に、トンネルを掘削する作業と、掘った土砂を運搬する作業を行ないました。トンネル掘削は発破工法にて行っています。
一日でも早くトンネル工事が貫通するように工事を進めますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

県立沼津工業高校 見学会開催

6月24日に、沼津工業高校土木科の2年生が見学しました。これは、「県建設産業担い手確保・育成対策支援コンソーシアム」の一環として、静岡県と県教育委員会が主催したものです。土木技術者を目指す学生さんに、実際のトンネル現場の様子をみていただき、スケールの大きさを実感してもらいました。
「静岡新聞」に、見学会の様子が掲載されました。



「静岡県建設産業担い手確保・育成対策支援コンソーシアム」とは、建設産業の担い手確保・育成対策支援事業の一環として、建設産業への理解促進を図るため、産学官が連携した活動のことです。

作業時間のお知らせ

トンネル掘削作業(防音ハウス内での作業) 7時～18時

※トンネル発破は8時～17時、1日3回から4回程度を予定しています。

発破作業は、トンネル入口の防音扉を閉めて行なっています。

昼間発破作業を行ない、問題がないようでしたら、夜間の発破を行ないます。

夜間の発破作業を開始する前に、お知らせします。

発破時の音や振動は、トンネルを掘る場所の硬さや岩盤の状況で、変わることがあります。

細心の注意をはらって作業していますが、ご意見があれば、JV事務所までご連絡ください。

土砂運搬作業(防音ハウス外での作業) 8時30分～17時

工事の概要

発注者：静岡県 沼津土木事務所

施工者：鹿島・集特定建設工事共同企業体

(仮称)静浦1号トンネルは、国道414号の静浦バイパスの一部として、沼津市下香貫地区と大平地区を結ぶ全長1,177mのトンネルです。本来4車線で計画していますが、事業効果の早期発現のため、今回暫定的に南側線2車線での整備を行ないます。
トンネル掘削は、地山が強固な岩盤であるため、発破作業を行なっています。

トンネルって、どうやってつくるの？ トンネルをつくる方法をご紹介します。

トンネルは、掘る岩や土のかたさや、トンネルを掘る場所などにより掘り方が工夫されています。その代表的な方法が、山岳工法、シールド工法、開削(かいさく)工法、沈埋(ちんまい)工法の4種類です。

(1)山岳工法(NATM)

山腹に横穴を掘り、崩れないように鋼製アーチ支保工、吹付けコンクリート、ロックボルトで補強しながらトンネルをつくる工法です。NATMと呼ばれ、現在、ほとんどの山岳トンネルは、このNATMで施工されています。**静浦トンネルも、山岳工法でつくっています。**



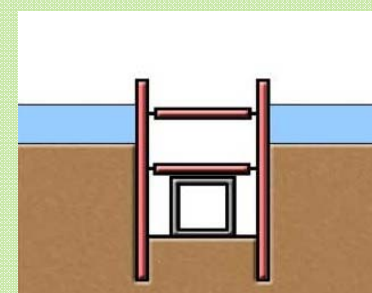
(2)シールド工法

トンネルの掘削先端付近に、「シールド」と呼ばれる鋼鉄製の外筒を設けて、内部でセグメントというブロックをリング状に組み立てていく工法です。この工法は軟弱で崩れやすい土質に適しています。東京湾アクアラインは、シールド工法によりつくられています。



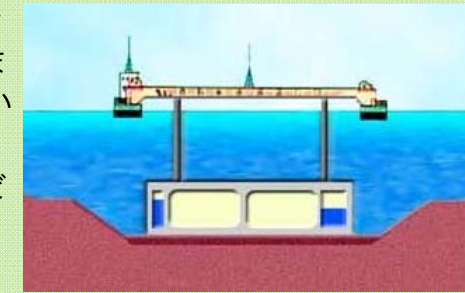
(3)開削(かいさく)工法

地上から地盤を掘削し、その中に鉄筋コンクリートなどでトンネルをつくり、あとで上部を土や砂などで埋め戻す工法です。比較的浅い地下のトンネルを施工する時に用いられます。都会の地下街や、地下鉄の駅をつくる時などに使われます。



(4)沈埋(ちんまい)工法

水底のトンネル設置場所にあらかじめ溝を掘っておき、そこに陸上で造られた大きな箱型の構造物を順次並べてトンネルを形成します。比較的浅い海底のトンネルをつくる時などに使われます。



近隣の皆さまには、重機のエンジン音やダンプの走行音等で、大変ご迷惑をおかけしております。お気づきの点がありましたら、事務所までお知らせください。

どこまで掘れたかな？ (進捗状況のご報告)

トンネル坑口から175m
(6月30日現在)
全長1177mのうち
約15%掘削完了

連絡先

鹿島・集特定建設工事共同企業体

現場代理人 上南(うえなみ) 隆

お問い合わせは、お気軽に 副所長の 天野 まで

沼津市下香貫塩満1766 (電話)055-935-5896